



いかりのにかさまた青さ

四月の気層のひかりの底を

唾<sup>つばき</sup>しはぎしりゆききする

おれはひとりの修羅なのだ

詩集「春と修羅」

## 本を持って出かけよう

..... 第5回 .....

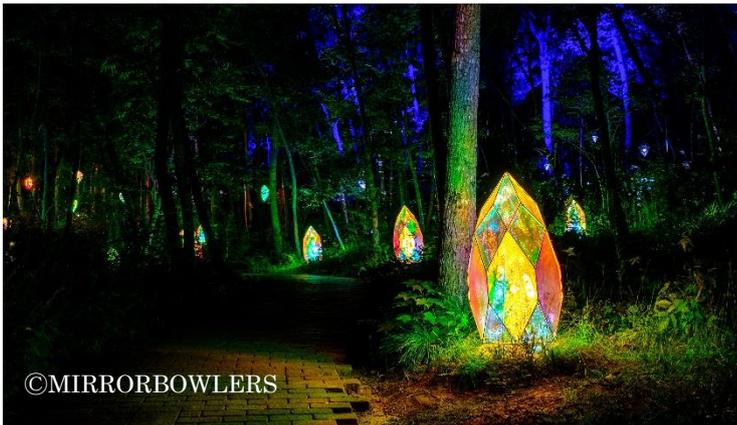
宮沢賢治と花巻市

『春と修羅』 918.6||Ki42||90

『注文の多い料理店』 918.6||Ki42||91

昭和44年 日本近代文学館発行

本館第1書庫2階所蔵



久しぶりに岩手県花巻市に行ってきました。花巻市と言えば、まず宮沢賢治の生まれ故郷というのが頭に浮かびます。

37歳の若さでこの世を去った宮沢賢治は、童話作家、詩人、農業指導者、教育者といった、いくつもの貌を持っています。また、鉱物、天文、動物や植物にも深い興味を持っていました。今では童話作家として誰もが知る存在ですが、生前に出版された本は、童話集『注文の多い料理店』、詩集『春と修羅』（賢治は詩集ではなく心象スケッチと呼称）の2冊のみ。残された作品は死後、友人らの尽力により編集出版され、世に知られるようになりました。花巻市には、賢治ゆかりの場所、関連施設、文学碑などが多くあり、その多面性や物語世界に触れることができます。（写真は宮沢賢治童話村）

今回ご紹介するのは、生前出版された2冊の図書の復刻版です。秋の夜長、当時の読者になった気持ちで賢治作品を読み返してみるのも、また一興かと。